



緑と調和した、
賑わいと安らぎのあるまち
江南区

区役所だより

こうなん

令和8年(2026年)

1月18日
第451号

区の人口	
人 口:	67,281人 (+32)
男:	32,778人 (+12)
女:	34,503人 (+20)
世帯数:	28,898世帯 (+42)
令和7年12月末現在(カッコ内は前月比、住民基本台帳による)	

編集・発行:新潟市 江南区役所 地域総務課 〒950-0195 新潟市江南区泉町3丁目4番5号 電話:025-383-1000(代表) FAX:025-381-7090

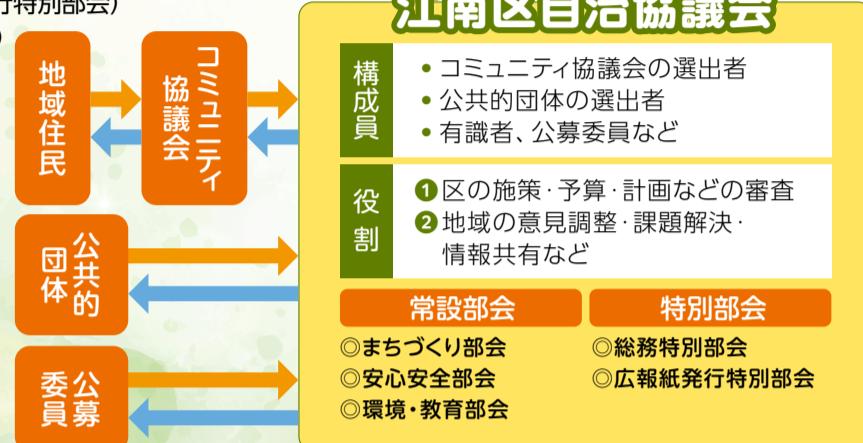
江南区自治協議会通信

第29号

編集 江南区自治協議会(広報紙発行特別部会)

問 地域総務課(☎025-382-4619)

自治協議会は、区の特色を活かしたまちづくりを進めるため、地域と行政をつなぐ「協働の要」として、重要な役割を担っています。



8~12月の全体会議では、区の施策の進捗確認や、来年度の方向性の審議を行いました。自治協は、住民の想いを区に伝えることができる場所だと感じています。

上村 亮子 委員
(曾野木地区
コミュニティ協議会)



自治協トピックス 1

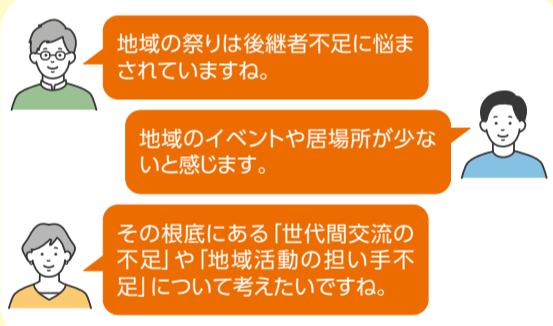
地域課題の解決に向けた調査・研究を進めています

30人の委員が3つの部会に分かれ、それぞれの分野に関する地域課題について話し合いました。来年度、課題解決に向けた事業を実施するため、先行事例の調査や研修会への参加を行っています。

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地域の課題を洗い出し	テーマ決定	調査・研究				

まちづくり部会

地域活動の担い手不足解消



調査・研究
伝統文化の後継者育成についてお話を聞きました。



山ノ下神楽保存会の方々から、多世代の参加を促す工夫についてお話しいただきました。

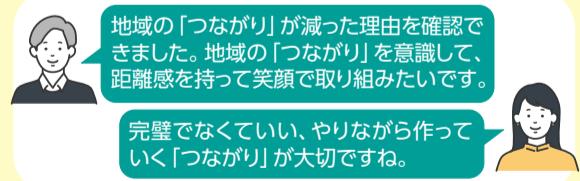
安心安全部会

福祉と防災から考える地域のつながりづくり



昔と今の「つながり」の違いについて講義を受け、今の「つながり」で地域としてどんなことができるか、アイデアを出し合いました。

研修会後の感想



環境・教育部会

地域の未来を若者と一緒に考える



調査・研究
先行事例を参考に、若者の意見を活かした事業の実施について検討しています。

自治協トピックス 2

地域資源を活用した事業を実施

今年度から、「まちづくりサポートプロジェクト」として、地域が持つ多様な資源や新たな視点を活用した事業が行われています。

亀田西小学校区コミュニティ協議会



中学校とPTA、コミュニティ協議会、民謡協会が連携し、伝統織物「亀田縞」の浴衣の着付けを中学生が学びました。祭り当日には、生徒たちが浴衣を自ら着用し、さまざまな世代の地域の方々と共に亀田甚句を踊りました。

両川地区コミュニティ協議会



担い手の減少が課題となっている酒屋まつり子ども灯籠において、広報を強化し、多世代の参加促進を図りました。また、大人はTシャツ、こどもは法被と、それぞれお揃いのデザインのユニフォームを着用し、一体感のある雰囲気の中で練り歩きました。

規格外品の活用で美味しいを発信 両川梨を使ったサワーが好評

江南区農商工連携協議会は、両川地区で収穫された規格外の梨を使用した酎ハイ「ボスリバーサワー」を開発しました。12月15日から江南区・中央区の店舗で提供し、区内外の方に両川梨の美味しさを知っていただく機会となりました。



両川梨をサワーにすることで、飲んだ方一人一人が魅力の発信者になってほしいという思いで開発しました。加熱した梨と冷凍した生の梨を半分ずつ使うことで、梨が本来持つ風味と自然な色合いを引き出しています。

株式会社KAMEDAplus 代表取締役 小林 堅治さん(発案・製造)

近年は天候不順の影響で、傷や大きさなどの理由から出荷できない梨が増え、その割合は約3割に上っています。加工品として活用し、美味しいを発信してもらえることを大変嬉しく思います。このサワーをきっかけに両川梨の魅力が広がれば、梨農家の原動力になると感じています。

AGNET新潟 堀川 謙さん(梨農家)



梨づくりには一年を通して多くの手間がかかるため、大量に廃棄されてしまうのは非常にもったいないことです。区としても、今後も取り組みを支援し、応援していきたいと考えています。

坂井区長



渋滞を避けて通勤・通学！環境にもやさしい 亀田駅東パークアンドライド駐車場 利用者募集

④令和8年4月1日～令和9年3月31日
亀田駅に自家用車を停め、電車またはバスで市内へ通勤・通学する人 80台
(応募多数の場合は抽選)
※その他にも条件あり。募集要項をご確認ください。

年48,000円(月4,000円×12か月、一括前納)
④2月19日(木)までに申請書と必要書類を建設課へ郵送か持参、または専用フォームより申し込み
問同課(☎025-382-4738)



詳細はこちら

パークアンドライドとは

駅やバス停近くの駐車場に車を停め、電車やバスに乗り換えて目的地に向かう方法です。市内中心部の交通渋滞緩和や環境保全などの効果が期待できます。



子育てに関するお知らせ

安産教室

①妊娠中の過ごし方、食生活、歯のお話
②沐浴体験、赤ちゃんとの生活についてなど

④①2月3日 ②3月3日(火)
※全2回 13時半から2時間程度
(受付:13時15分から)

場亀田健康センター
区内在住で5～7月出産予定の妊婦
(初産の人優先) 先着16人
持母子健康手帳

④1月21日(水)から健康福祉課 健康増進係(☎025-382-4340)へ

妊婦歯科健診

歯科健診・お口の個別相談

④2月5日(木)
①13時 ②13時半 ③14時

場亀田健康センター

区内母子健康手帳の交付を受けた妊婦
(30週頃まで) 先着25人

持妊婦歯科健診受診票、母子健康手帳

④専用フォーム=右=よ
り申し込み
問健康福祉課 健康増進係
(☎025-382-4316)



育児相談

④2月17日(火)
①9時半 ②10時 ③10時半

場亀田健康センター

区内在住の乳幼児とその保育者

各回先着15組

持バスタオル、母子健康手帳

④1月21日(水)から健康福祉課 地域保健福祉担当(☎025-382-4138)へ

はじめての離乳食講習会

離乳食の進め方、情報交換、試食

④2月20日(金) 13時半～14時50分
(受付:13時15分から)

場亀田健康センター

④生後5か月頃の赤ちゃんの保育者
先着15人

持バスタオル(乳児連れの場合)、母子健康手帳

④1月21日(水)～2月18日(水)に専用フォーム=右=より
申し込み

問健康福祉課 健康増進係
(☎025-382-4316)



赤ちゃんがきた！ 親子の絆づくりプログラム

初めての子育ての悩みや喜びを共有しながら学ぶ講座です。

日付	内容
2/24 (火)	新しい出会い
3/3 (火)	赤ちゃんのいる生活
3/10 (火)	赤ちゃんとの接し方
3/17 (火)	親になること

持9時半～11時半 ※全4回

場亀田東児童館

④2～5か月の第一子とその母親
先着8組

￥無料(使用するテキストは貸し出し。
購入希望者は1,100円)

問同館(☎025-378-5371)

各種健診

対象者には順次案内を郵送します。

○股関節検診・母体保護相談

○1歳誕生歯科健診

○1歳6か月児健診

○3歳児健診

持母子健康手帳

問健康福祉課 健康増進係

(☎025-382-4340)



両川梨をサワーにすることで、飲んだ方一人一人が魅力の発信者になってほしいという思いで開発しました。加熱した梨と冷凍した生の梨を半分ずつ使うことで、梨が本来持つ風味と自然な色合いを引き出しています。

株式会社KAMEDAplus 代表取締役 小林 堅治さん(発案・製造)



近年は天候不順の影響で、傷や大きさなどの理由から出荷できない梨が増え、その割合は約3割に上っています。加工品として活用し、美味しいを発信してもらえることを大変嬉しく思います。このサワーをきっかけに両川梨の魅力が広がれば、梨農家の原動力になると感じています。

AGNET新潟 堀川 謙さん(梨農家)



梨づくりには一年を通して多くの手間がかかるため、大量に廃棄されてしまうのは非常にもったいないことです。区としても、今後も取り組みを支援し、応援していきたいと考えています。

坂井区長

表具・内装職人の轟田さんが 「現代の名工」に選出 当たり前の空間を支える、匠のこだわり

きわめて優れた技能を有し、産業の発展に寄与した人に贈られる「現代の名工」に、江南区割野在住で内装職人の轟田和義さん(72)が選ばされました。内装とは、天井や床材、壁紙などを仕上げることです。

高校卒業後、東京の電気メーカーで働いていた轟田さんが職人の道に進んだのは50年前。新潟の実家に戻った際、友人に勧められたことがきっかけでした。周囲の仲間から技術を学びながら、少しずつ腕を磨いていったそうです。

平成17年には、技能グランプリ「壁装」部門で最高賞となる内閣総理大臣賞を受賞。仕事の合間に縫って繰り返し練習し、素早く美しく仕上げる技術を身につけた経験が、その後の仕事にも生かされているそうです。

「きれいな仕上がりを見て喜んでもらえたら、その一心で続けてきた」と語る轟田さん。「お客様の要望に合わせた提案をするため、多種多様なメーカーの見本を見て研究した」と、仕事へのこだわりをじませました。

令和3～6年には県表具内装組合の会長を務め、電気メーカー勤務時代の知識を生かしてデジタル機器を活用した業務効率化にも尽力されました。

「壁紙は、普段は空気のように当たり前の存在。でも、たまには目を向けてもらえると嬉しいですね」と、朗らかに話されていました。



市報・区役所だよりを無料でお送りします



市報・区役所だよりを無料でお送りします

「市報にいがた」「区役所だより こうなん」は、新聞折り込みで配布しています。購読していない世帯で希望される方には無料でお送りしますので、ご連絡ください。

また、視力が弱い方を対象に、点字版または音声版を無料でお送りします。

問地域総務課(☎025-382-4619)



健康・福祉に関するお知らせ

献血にご協力ください

問①2月14日(土)

9時半～正午、13時半～15時半

②2月28日(土)

10時～正午、13時半～16時

場①イオンモール新潟亀田インター
(下早通柳田1)

②アピタパワード新潟亀田店(鶴ノ子4)

持献血カード(初めての人は運転免許証)

などの身分証明書)

問健康福祉課 健康増進係

(☎025-382-4340)

保健師・栄養士による健康相談

問2月16日(月)

①13時20分 ②14時10分 ③15時

場亀田健康センター

問健康福祉課 地域保健福祉担当

(☎025-382-4138)

* レンズキャッチ

ふんわりアクセル・ふんわりブレーキで事故防止
冬の交通事故防止運動 出発式

12月11日から20日まで、冬の交通事故防止運動が実施されました。この機運を高めるため、11日、江南区役所で出発式が行われました。

昨年、江南区では交通事故による死亡事故が2件発生し、安全運転への意識啓発が急務となっています。

式には、いぶき保育園の園児たちが参加し、「横断歩道を渡るときは、右、左、右をよく見て渡ります」と元気に宣言しました。江南宣隊ユメレンジャーによる交通ルールを伝える寸劇では、信号のない横断歩道で待っている人がいる場合の車の停止率が低いことを紹介。「止まる・見る・待つ」を守り、安全に横断歩道を渡ることの大切さを呼びかけました。

その後、園児たちは「冬の道は、パンのようにふんわりと優しいアクセル・ブレーキを」という思いを込め、来庁者にパンを配布しました。

安全運転管理者協会の荻荘会長は、「年末年始は交通事故が多くなる時期。一人一人が心掛け、防止に取り組んでいきましょう」と呼びかけました。



お知らせ

毎月第1・3木曜日開催
弁護士無料相談

毎月第1・3木曜日開催
弁護士無料相談

毎月第1・3木曜日開催
弁護士無料相談

両川公民館
酒屋町821-8

春色コンサート

春の曲の演奏を楽しんだり、歌を歌ったりしませんか。
毎月第1・3木曜日開催
弁護士無料相談

毎月第1・3木曜日開催
弁護士無料相談